



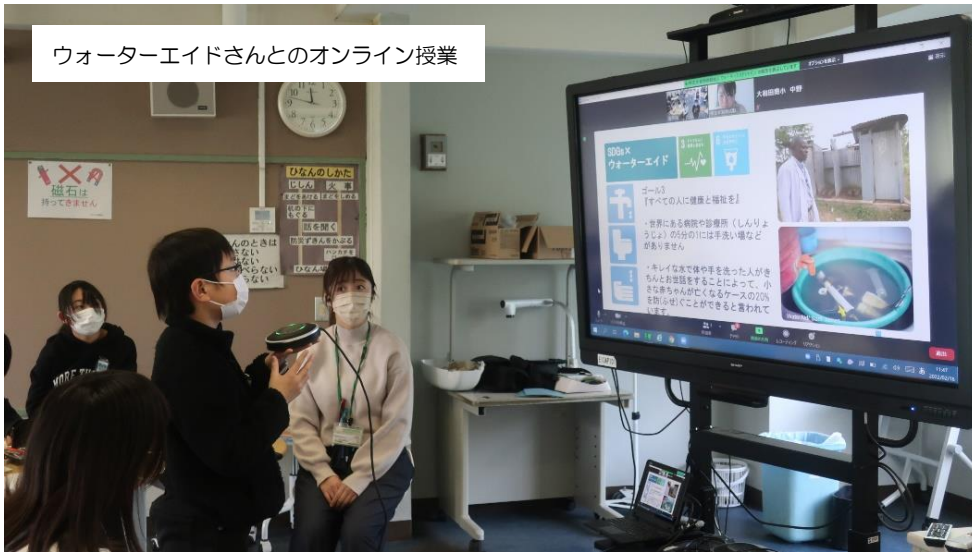
Team Dainan

八千代市立大和田南小学校
《校長室だより》
令和3年度 第42号
令和4年 2月21日



SDGs6 安全な水とトイレを世界中に

～ウォーターエイド(国際 NGO)さんとのオンライン授業～



ウォーターエイドさんとのオンライン授業

6年生の子供たちは、「SDGsで皆の未来を最高にしよう！」を共通のテーマにし、これまでの活動でSDGs17の目標達成のため、グループごとに自分たちにできることについて話し合い、募金活動や韓国とのオンライン交流、ピクトーブルづくりなど具体的な行動に移してきました。

今回の校長室だよりでは、「水の衛生問題の解決に向けた募金活動」に取り組んだグループについて紹介します。

SDGs17の目標のうち6番の目標が「安全な水とトイレを世界中に」です。この目標に真正面から取り組んだのが「水の衛生問題の解決に向けた募金活動」グループです。6年生の子供たちが直接アフリカ・エチオピアやカンボジアなどに出向いて支援をするというのは現実的ではありません。しかし、6年生の子供たちにもできる手立てがあります。その一つが今回ご協力をいただいた「ウォーターエイド」さんが行っている募金です。ウォーターエイドさんは、私たちの生活に欠かせない清潔な水、トイレ、正しい衛生習慣を届けることで最も取り残されがちな人々の生活を変えることを目指す水・衛生専門の国際 NGO です。

子供たちは、下記のような計画で、2学期に募金活動を行い、一定の成果を収めました。

目的 少しでも衛生的な水を届け、少しでも病気になる人を少なくする。

目標 10,000円～15,000円を集め、募金をする。

活動内容

- みんなが入れたいと思うような募金箱を作る。
- 募金をしてくれたお礼に、お礼としてあげるしおりを作る。しおりの表面には、お礼の文を書き、裏にはイラストやお花を描き、みんながもらってうれしいと思えるものを作る。
- 放送チーム、看板チーム、募金箱チームに分かれ、2人一組で活動をする。

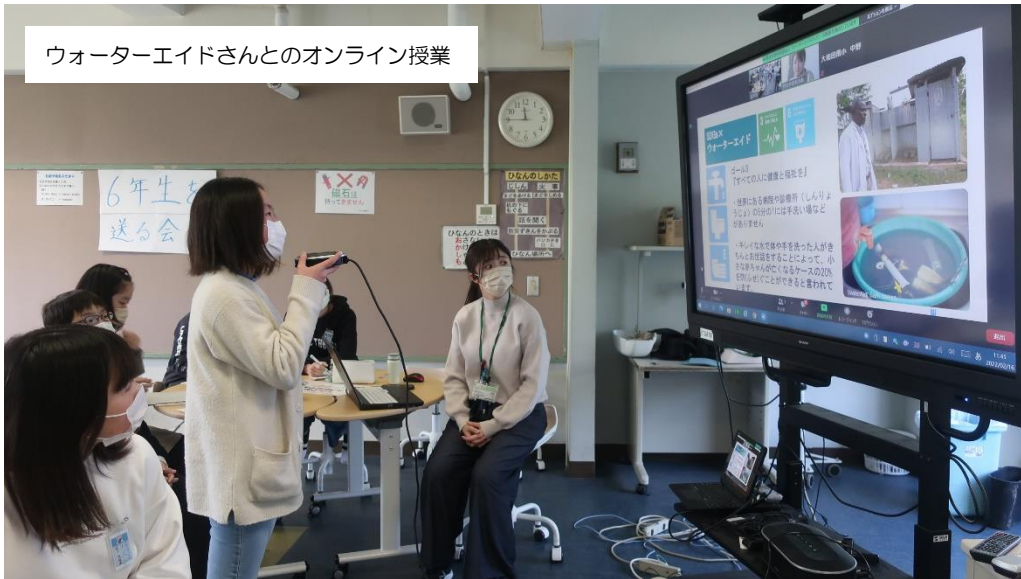
成果 募金活動で18,888円を集めることができ、ウォーターエイドさんから感謝状(写真右)をいただいた。(莉来さんのノートからの抜粋)



ウォーターエイドとは
ウォーターエイドは、1985年にイギリスで設立され、水・衛生専門の国際NGOです。2021年現在、アジア、アフリカ、中南米など26の国で水・衛生プロジェクトを実施しています。世界では約6億5000万人、およそ10人に1人が清潔な水を利用できる、20億人、およそ3人に1人が適切なトイレを利用できない環境で暮らしています。また、不衛生な水を飲むことで毎年約500万人の子供が命を失っています。清潔な水とトイレは、健康な生活を送るために不可欠な、正しい衛生習慣を身につけること、多くの命を救います。多くの命を救うために学校に届けたい。下等校への取組も必要です。ご協力をいただいたことに感謝申し上げます。ウォーターエイドは、世界の美しい水と衛生を届けるために、大切に変わってまいります。



ウォーターエイドさんとのオンライン授業



今回のオンライン授業は、募金活動を通してつながりをもつことができたウォーターエイドさんとオンラインでやり取りをし、直接「水・衛生問題」についてお話を伺いました。

以下は、オンライン授業後の子供たちの感想です。

- 水・衛生問題がある国の大変さを知って、自分たちがどれだけ恵まれているかわかった気がした。自分たちは水を十分に使っているし、きれいな水も使っている。トイレも使えたりしているから全然違うなと思った。(莉羅さん)
- ウォーターエイドさんの話を聞いて、水衛生のことについて詳しく知ることができました。現地の人たちの生活がとてつらいことも知ることができました。自分たちの生活とは真逆だったので驚きました。(怜汰さん)
- やっぱり、同じ世界なのに不平等なのは仕方がないのかもしれないけれど、できるだけ(不平等を)減らしていきたいと思った。(亮太さん)
- 教科書やタブレットで読むよりも、水の問題は思ったより難しかった。水だけでなく、その地域の生活のことまで考えているのはびっくりした。(優羽さん)
- 私たちの当り前は、ある人にとっては、とっても幸せなことだとわかりました。だから水を大切にしようと思いました。(愛実さん)
- 水に困っている人の具体的な例がわかって、(自分たちの活動が)このような人たちの役に立っていると知ったら、「自分も世界の人間の一人としてSDGsにちゃんと取り組んでいるな」と改めて思った。(穂さん)
- アフリカは、日本の1/10しか水を使っていないことが驚いた。毎日(不衛生な)水が原因で800人以上死者が出ているのはびっくりした。(不衛生な)水を飲むだけでこうなるなんて生きていけないから、しっかり節水していきたいと思った。(陸斗さん)
- 水の問題があるということは前から知っていたけれど、ここまで深刻な状態だと思わなかった。水を日本は使い過ぎだと改めて思った。アフリカの人々はいつになったら全員がきれいな水を使えるのか疑問もあった。もっと水に警戒心をもたないといけない!!(李音さん)
- 本やネットではのっていないことや、現状を知ることができました。自分が当たり前じゃなくて、それが幸せですごいということがわかりました。(莉来さん)
- 正直、日本って贅沢な部分もあるな~とも感じたし、どれだけ水が大切かも改めてわかった。(芽衣さん)

ウォーターエイドさんへのお礼のメール ※抜粋
「今日、私たちは、改めて水・衛生問題の重要性を知りました。これからも全校に水・衛生問題について呼びかけを行ったり、自分たちが今できることを考えたりして活動していきます。」
(友梨菜さん)



ウォーターエイドさんとのオンライン授業